

【伊藤総領事メッセージ 2018年8月】



Japan-Canada 90 Years

1928年7月20日、オタワに日本の公使館が開設され、日本とカナダの外交関係が正式に樹立されました。本年の7月20日はその90周年にあたることから、在トロント日本国総領事館はこの日に3つの大きなイベントを行いました。

まず、カナダで最大の発行部数を誇るトロント・スター紙の1面を買い取り、日本とカナダが共通の価値観を持つパートナーであることをアピールする広告を掲載しました。文章によるメッセージと共に、様々な分野で両国がパートナーであること、また様々な日本文化がカナダの人々に楽しまれていることを示す写真の掲載には、多くの方々のご協力を得ることが出来ました。さらに、将来の日本とのパートナーシップを担うカナダの若者達が日本を知るチャンスとなるJETプログラム、文部科学省国費留学生プログラム、ワーキング・ホリデー制度の紹介も行いました。



第二に、州議会議事堂のあるクイーンズ・パークにおいて、日本の国旗掲揚式を行いました。クイーンズ・パークに外国の国旗を掲揚するためには州議会事務局の許可が必要ですが、日加修好90周年の意義を訴え、許可を得ることが出来



ました。当日は晴天に恵まれ、適度な風も吹き、君が代が流れる中で掲揚を行い、青空に日章旗が翻ったのです。当地に長年在住されている日系人の方々からは、「ここで日の丸が掲揚されるのを初めて見た」との声が聞こえ、大変喜んでいらっしゃいました。

州議会からは、進歩保守党、新民主党、自由党の3つの主要政党からそれぞれの党の代表が参列されました。与党である進歩保守党の代表であるロビン・マーティン議員は、ダグ・フォード・オンタリオ州首相からの祝辞と共に、御自身の娘が大の日本ファンで日本語を勉強し、Jポップを毎日聞いていることを披露されました。自由党を代表したミツィー・ハンター議員は、自らが柔道を練習していたことや、選挙区内にある日系高齢



者施設であるモミジ・ヘルス・ケア・サービスがいかに素晴らしいかを話してくださいました。

第三に、日系文化会館で開催した日加修好90周年記念レセプションです。国会議員や近隣自治体の首長、市議会議員の方々などのVIPの臨席も得て、約400名が出席する盛会となりました。私からは、これまでの日本とカナダの二国間の歴史を振り返りつつ、今日では日本とカナダが共通の価値観を有するパートナーとなったこと、そのために尽力された様々な方々の努力への感謝、また現在のパートナーシップに満足することなく、我々が共有する価値観への挑戦に対しては日加が共同で戦っていくべきであることなどにつき挨拶を述べました（[挨拶の全文はこちらからご覧いただけます](#)）。



日加修好90周年に関するジャスティン・トルドー・カナダ首相からのメッセージも披露された他、日加修好90周年の動議を採択しレセプションも開催してくれたミシサガ市のクロンビー市長も駆けつけ、挨拶を頂きました。鏡割では、昨年日本を訪問され、6月には市内で80本の桜の植樹が行われたマーカム市のス

カルピティ市長から乾杯の発声を頂きました。

さらに、当館が主催した日加修好90周年記念写真コンテストの表彰式も併せて行いました。一般の部、ジュニアの部ともに素晴らしい作品が集まりましたが、子供や桜が被写体になっている作品が多かったように思います。



トとして活躍中の Daiki さんが当地ックショーを開催されるなど、日本同士を結ぶ上で大きな貢献をしてくるような友情の輪が、これからもオンタ大きく広がっていくことを強く願っています。

日加修好90周年を記念する行事は、1年を通じて行われており、総領事館が開催する行事以外にも一般市民団体による素晴らしい行事がたくさんあります。

7月には、や、若手イ



池坊の生け花展リュージョニスを訪問してマジとカナダの市民れました。このよリオ州でさらに

